令和６年度　第２回飛騨市総合政策審議会

日時：令和６年 10 月 25 日（金）午後１時～
場所：市役所西庁舎３階　小中会議室

1. 開　　会

2. 市 長 挨 拶

3. 会 長 挨 拶

4. 協 議 事 項

⑴ 令和７年度の施策（案）について　・・・　資料①

⑵ 総合政策指針第Ⅱ期骨子（案）について　・・・　資料②

～　休　憩　～

⑶ 自由討議

5. そ　の　他

今後のスケジュール　・・・　資料③

6. 閉　　会

令和７年度　施策（案）

●この資料は、令和７年度から新たに実施を検討している事業や、これまでの既存の事業のうち拡充・拡大を検討している事業を抜粋して記載しています。
（新規・拡充のみ）

R6.10.25時点

元気な飛騨市づくり　～しごとを守る～

★先駆分野　～全国的に高い評価を受けている分野でも満足することなくさらにその先を～

広葉樹事業者をつなぐ新たな人材確保による広葉樹流通支援（農林部）
飲食店と農家の交流を深めるまるごと食堂の開催期間拡充（農林部）
LINE導入による飛騨市ファンクラブの更なる交流拡大（企画部）
関係人口サミット開催による市の情報発信や新たな関係創出（企画部）

★変革　～これまでの仕組みを抜本的に変え持続可能なものにする新たな仕組みづくり～

新　**持続可能な水田担い手農家の新たな仕組みづくり（農林部）**
新　**育苗を省略した水稲直播（ﾁｮｸﾊ）技術チャレンジ（農林部）**
新　**中古農業機械レンタル事業の実証検討（農林部）**
新　**担い手法人と連携した土地利用型農業持続化体制の実証（農林部）**

●観光資源
関係法人と親和性の高い企業研修誘致（商工観光部）
関係法人顧客への観光誘致活動（商工観光部、企画部）
古川の歴史や匠を学ぶ拠点となる匠文化会館リニューアル（商工観光部）
市民との照明実験結果による魅力ある町並み夜間景観の詳細設計（商工観光部）
20周年補助金の実績踏まえた継続支援検討（企画部・商工観光部）
薬草、広葉樹、食をテーマにした体験型まちづくり観光の試行（商工観光部）
旧朝開町農産物直売施設の多角的利活用の検討（総務部）
道の駅アルプ飛騨古川を活用した戦国観光の情報発信（商工観光部・教育委員会）
飛騨古川の町並みガイドブック「タウントレイル３（仮称）」の作成（商工観光部）
地元要望による林道神原～数河線展望デッキ整備（基盤整備部）

●事業者支援
ビジネスサポートセンターと事業者対談のラジオ発信による魅力発信（商工観光部）
輸出・第三者認証取得支援による国内外への販売販路拡大支援（商工観光部）
民間と連携した特産品市場開拓実証（商工観光部）
実績に基づいた商工業活性化包括補助制度の見直し（商工観光部）
経済連合会と連携したセミナー開催による企業の魅力発信強化（商工観光部）

●農林畜産業
新　守るべき農地を明確化する農業振興地域整備計画の基礎調査（農林部）
新　重点区域宮川地区におけるスギ花粉発生源伐採開始（農林部）
新　効率的森林整備のための林地台帳システムの導入（農林部）
新　国産飼料で育った飛騨牛育成実証（農林部）
朝霧の森活用のための散策イベント開催（農林部）
里山環境維持のための神岡における小規模森林自伐林支援　（農林部）
市有林の立木販売の確立に向けた提案型プロポーザルによる市有林整備（農林部）
レーザー測量や稲食味予測システム実証などスマート農林産業支援（農林部）
獣医師確保見込による更なる診療体制整備（農林部）
土地改良による農地利用集積最適化（農林部）

●関係人口・関係法人
新　地域や社会への想いを持つ関係人口を広げる実践塾の飛騨市版検討（企画部）
台湾新港郷との友好交流の中学生へ拡充検討（企画部）
官民連携による地域課題解決事業の推進（企画部）
ヒダスケ！事業委託によるプログラム周知拡大（企画部）
企業連携共同事業の拡充検討（企画部）
大学との連携強化によるまちづくり観光の推進（商工観光部）

●この資料は、令和6年10月25日開催の飛騨市総合政策審議会において、委員の皆様からご意見をいただく為の参考資料です。
●この資料に掲載している施策はあくまでも現在検討中の案であり、予算化・実施することを確定したものではありません。
●今後の協議や予算規模によっては、「事業化を断念」、「前倒して年度内に実施」、「引き続き検討」とする場合がございます。
●資料のお取扱いには十分ご注意ください。

あんきな飛騨市づくり　～まちをつくる～

R6.10.25時点

★先駆分野　～全国的に高い評価を受けている分野でも満足することなくさらにその先を～

避難所運営防災士の中学生との連携、家具転倒防止設置推進（総務部）
助産師が自宅に訪問する産後ケアの一部無料化による支援強化（市民福祉部）
学校作業療法士の後継者人材育成（市民福祉部）
思春期健診の実装検証2年目（市民福祉部）
里山ナース認定制度の体制整備による看護師育成強化（病院事務局）

★変革　～これまでの仕組みを抜本的に変え持続可能なものにする新たな仕組みづくり～

新　**持続可能な移動販売の新たな仕組みづくり　（市民福祉部）**
新　**公民館の利用拡大のための制度検討（教育委員会）**
新　**持続可能な公共交通ドライバー確保（総務部）**
新　**防災士が区に参画する新組織設立による地域防災力強化（総務部）**

●公共交通

名古屋大学との共同研究継続による公共交通のさらなる利用促進及び人材育成（総務部）
住民意見を集約した古川町の公共交通見直し（総務部）
ひだまるバス車輌（ハイエース）更新（総務部）
通院支援タクシー助成（総務部）

●子育て支援

妊産婦の医療費助成創設（市民福祉部）
新　「子育て世帯アンケート」を踏まえた子育て支援策検討（市民福祉部、教育委員会）
杉崎公園進化プロジェクトにおける園内多目的トイレ設置（基盤整備部）
産前産後サポートの更なる拡充（市民福祉部）
こども版いきいき券「親子ふれあいクーポン」の交付（市民福祉部）
私立保育園との連携による未満児保育体制の強化（市民福祉部）
ひとり親応援サロン、親子行事の開催（市民福祉部）
入園・入学時準備品購入に対する支援（市民福祉部）
みんなの居場所づくり実施団体支援・掘り起こし（市民福祉部）
公立保育園におけるLED整備（市民福祉部）

●健康づくり

検診受診料減額による検診受診率向上の検討（市民福祉部）
新　乳児期の親子歯科検診受診支援（市民福祉部）
新型コロナウイルスワクチン定期接種の国動向注視（市民福祉部）
「保健センターだより」保健師の取り組み周知（市民福祉部）
市民の健康づくり普及推進の検討（市民福祉部）

●獣害対策

ICTカメラ導入による効率的な有害鳥獣捕獲強化（農林部）
鳥獣ワンストップ窓口の普及（農林部）
狩猟・わな猟免許取得上限増加による狩猟者育成推進（農林部）
被害が大きい集落の環境診断による鳥獣被害防止対策（農林部）
池ケ原獣害対策におけるネット柵設置（宮川振興事務所）
獣害被害による農地修復支援（農林部）

●住環境

空き家流動化の促進（企画部）
空き家等管理活用支援法人活用の検討（基盤整備部）
中古住宅ニーズに沿った購入・改修住宅新築・購入支援拡充（基盤整備部）
市営住宅長期修繕計画に基づく維持修繕（基盤整備部）
住宅耐震化診断及び工事にかかる支援（基盤整備部）
直近の実績から移住定住者支援の拡充見直し（企画部）

●消防

今後を見据えた消防基本団員維持のための検討協議（消防本部）
神岡消防署消防２号車更新（消防本部）
神岡消防署トラック更新（消防本部）
感染症対応用感染防止衣購入（消防本部）
ドローンライセンス資格取得による職員育成（消防本部）
市内AED屋外設置の整備最終年度（消防本部）
消防団報酬の対象事業拡充検討（消防本部）

●水道

上水道施設の統合整備（環境水道部）
下水道施設の統合に向けた調査（環境水道部）
水道施設の耐震化整備（環境水道部）
下水道事業経営戦略の改定（環境水道部）

●ダイバーシティ

ダイバーシティの取り組みの普及推進（市民福祉部）
多文化共生事業の統合（企画部、市民福祉部、商工観光部）
外国人材の雇用・生活支援強化（商工観光部）

●地域医療

遠隔地区におけるオンライン診療検討（市民福祉部）
医療・介護・福祉人材確保対策の拡充（市民福祉部）
看護師等確保のための修学資金貸与（市民福祉部）
飛騨市民病院における医療提供体制確保のための支援（市民福祉部）
こどものこころクリニック支援（市民福祉部）
将来的な市民病院のあり方の検討（病院事務局）
まちなか保健室設置に向けた検討（病院事務局）
病院職員のカルテ参照や記録入力効率化を目指すシステム導入（病院事務局）
ＭＲＩによるすい臓ドック・胆道ドックの実施（病院事務局）
在宅療養体制の強化（市民福祉部）

●防災

防災行政無線デジタル化工事の整備最終年（総務部）
防災士連携及び中学連携による更なる地域防災力強化（総務部）

●災害対策

能登地震を教訓とした防災備蓄品強化（総務部）
在庫システム導入による防災備蓄品管理体制効率化（総務部）
市営住宅火災復旧（基盤整備部）

●介護

生きがい通所サービスにおける事業者独自業務評価支援（市民福祉部）
条件不利地域福祉入浴サービス確保支援検討（市民福祉部）
持続可能な福祉体制維持のための社会福祉連携推進法人の支援（市民福祉部）

●弱い立場

社会作業療法としての人材育成・手法の実装化実証（市民福祉部）
障がい者の相談支援体制全体の見直し強化（市民福祉部）
民間と連携した新たな買い物弱者対策検討（市民福祉部）
働きづらさのある方への支援及び企業体制整備試行（市民福祉部）
障がい者の就労体験支援企業に対する奨励金対象拡大（市民福祉部）
医療的ケア児家族の安心レスパイト支援体制拡充（市民福祉部）
生きづらさ・学びづらさのある児童受入職員の増員による体制強化（教育委員会）
障がい者グループホームのWi-Fi整備及びエレベーター修繕（市民福祉部）
自分と家族のための終活支援事業の拡充（市民福祉部）
ニーズ調査を踏まえた屋根雪下ろし命綱固定アンカー設置補助（基盤整備部）

●地域づくり

（再掲）遠隔地区におけるオンライン診療検討（市民福祉部）
（再掲）ニーズ調査を踏まえた屋根雪下ろし命綱固定アンカー設置補助（基盤整備部）
（再掲）行政区による地域防災力の向上支援（総務部）
地域複合サロン団体活動支援（市民福祉部）

●高齢者

補聴器更新も新たに対象に加えた支援の拡充（市民福祉部）
いきいきと地域生活を送るための「いきいき券」事業の推進（市民福祉部）
緊急通報装置の貸与、見守り機器の購入支援（市民福祉部）

●環境

ごみ減量・再利用・リサイクルの推進と普及啓発（環境水道部）
し尿処理施設の運営方針検討（環境水道部）
屋外分煙施設の整備（環境水道部）

誇りの持てる飛騨市づくり　～ひとを伸ばす～

R6.10.25時点

★先駆分野　～全国的に高い評価を受けている分野でも満足することなくさらにその先を～

新たな返礼品創出のための「ふるさと納税3.0」飛騨市版導入（企画部）
薬草のさらなる市民普及のための活用レシピ集の作成（商工観光部）
宮川考古民俗館ヴァーチャル空間公開による利便性向上（教育委員会）
石棒クラブをからめた開館30周年シンポジウムイベント開催（教育委員会）

★変革　～これまでの仕組みを抜本的に変え持続可能なものにする新たな仕組みづくり～

新　**伝統工芸品である山中和紙の持続可能な体制支援（河合振興事務所）**
香愛ローズガーデン施設イベント利活用環境整備（河合振興事務所）
人材確保と育成を見据えたまんが王国活性化（宮川振興事務所）

●地域資源
奈良県を巡る止利仏師伝説バスツアーの開催による普及啓発（河合振興事務所）
外部人材による天生の森パトロール員の確保・育成（河合振興事務所）
大手企業と連携したこどもの声優応援まちづくり（宮川振興事務所）
種蔵区民と関係人口による棚田と板倉の里活性化推進（宮川振興事務所）
池ケ原湿原スターリンク導入等による環境整備（宮川振興事務所）
カミオカラボ展示リニューアルによる来客整備強化（神岡振興事務所）
高原川ミズベリングによる通年イベントの開催（神岡振興事務所）
これまでの実績による地域イベント補助の見直し検討（神岡振興事務所）
ふるさと納税を活用したまちの元気創出支援事業　（企画部）

●文化
飛騨河合音楽の郷の体制整備による全市的普及促進（河合振興事務所）
国史跡姉小路氏城跡の保存活用計画策定及びガイド養成（教育委員会）
江馬氏城館跡の保存活用推進（教育委員会）
杉崎廃寺の国史跡指定に向けた機運上昇のための普及啓発（教育委員会）
千代の松原公民館保管の歴史的公文書の保存体制整備に向けた検討（教育委員会）
刊行に向けた古川祭史の継続研究（教育委員会）
市民参加型の旧中村家の修復（教育委員会）
石棒のポケットミュージアム展示による新たな交流機会創出　（教育委員会）

●平和
平和都市宣言（仮）策定後の普及啓発の取り組み（企画部）
台湾新港郷と国際連携による「平和なまち」絵画コンテストの開催（企画部）
長崎から講師をお招きする被爆体験講話の神岡開催（企画部）
平和について学ぶ中学生の長崎派遣（企画部）

●脱炭素
新　CO2排出量削減に向けた市民へのセミナー、情報発信による普及啓発（環境水道部）
新　家庭でできる「デコ活」アクションの推進（環境水道部）
新　省エネ・再エネ設備等の導入支援と今後の対策の検討（環境水道部）
新　中小企業等の省エネルギー診断支援（環境水道部）
脱炭素専門人材による脱炭素推進に向けた伴走支援委託（環境水道部）

●スポーツ
地域クラブ活動化に向けた最終体制整備（教育委員会）
文化系も含めた地域クラブ団体支援（教育委員会）
スケボーエリアの在り方継続検討（教育委員会）
全国ねんりんピックサッカー交流大会開催（教育委員会）
古川・神岡地区における子どものスポーツ学童推進（教育委員会）
ひだ流葉クロスカントリー直営開催3年目（教育委員会）
子どもたちとオリンピアン・トップアスリート交流（教育委員会）

●教育
小中学校におけるタブレット機器1200台の更新（教育委員会）
スクールバスの更新（教育委員会）
市民プールとしての神小プール更新（教育委員会）
小中学校特別教室におけるエアコン整備（教育委員会）
小中学校照明のLED化（教育委員会）
神岡地区におけるスクールバス車庫環境の整備（教育委員会）
保・小・中ふるさと給食（食育）の実施（市民福祉部、農林部、教育委員会）
「発酵」をテーマとした食育推進（農林部）
第2章最終年の飛騨市学園構想の推進（教育委員会）
生涯学べる場としての市民カレッジの開催（教育委員会）

市役所づくり　～歳出の縮減を図りつつ体制をスリム化し強靭な市役所をつくる～

R6.10.25時点

★変革　～これまでの仕組みを抜本的に変え持続可能なものにする新たな仕組みづくり～

新　市役所内全ての部署の滞納整理を一元化した「債権管理室」の本格運用（総務部）
新　市役所OB職員等の登録業務お助け制度（仮）の検討（総務部）
第Ⅱ期総合政策指針策定に合わせた「行財政改革」、[公共施設運営方針」検討（総務部・基盤整備部）
今後の飛騨市学園構想及び地域部活動を見据えた組織体制（教育委員会）
委員報酬、費用弁償、見直し検討（総務部）

●アウトソーシングの推進による業務効率化

新　情報システム業務アウトソーシング（総務部）
新　議会会議録アウトソーシング（議会事務局）
新　秘書室業務アウトソーシング（企画部）
新　広報業務アウトソーシング（企画部）
新　介護包括支援アウトソーシングに向けた検討（市民福祉部）
新　介護給付適正化業務一部アウトソーシング（市民福祉部）
新　商工補助金等業務アウトソーシング（商工観光部）
新　地籍調査アウトソーシング（農林部）
新　市営住宅管理運営アウトソーシング（基盤整備部）
新　公園、道路パトロールアウトソーシング（基盤整備部）
空き家等管理活用支援法人指定検討（基盤整備部）
放課後児童クラブ委託（教育委員会）

●DX推進による市民サービスの強化

新　「書かない・待たない・迷わない・行かない市役所」実現に向けたシステム導入検討（総務部）
新　窓口チラシ設置に代わる電子画面を使って情報を表示する看板導入（総務部）
新　ネット上の仮想空間市役所で自宅にいながら手続き・相談ができるサービスの検討（総務部）
新　窓口来庁時に口座振替登録が可能となる機器導入（総務部）
新　あいさつ文作成や文書の要約が瞬時に可能となる生成AI導入（総務部）
郵便仕分け効率化備品購入（総務部）
転入出手続きにおける書かない窓口の拡充（総務部）

●人材確保

地域おこし協力隊・集落支援員の外部人材導入制度による人材確保・事業推進（各所属課）
地元出身者に特化したインターン創出による職員採用の推進（総務部）
地域おこし協力隊の定住・起業支援（企画部）
兼業許可基準公開による地域貢献活動を行う職員の兼業促進（総務部）

●事務労力軽減

新　時間外における電話対応自動音声化（総務部）
法務局で取得可能な公図に伴う修正業務委託の廃止（総務部）
自宅でいつでも取得でき、来庁不要とするための航空写真電子公開（総務部）
人事異動の辞令書の電子化（総務部）
膨大な情報を瞬時にグラフや図にして誰でも簡単に理解できるようにするソフト導入（総務部）

●公共施設

新　夏休み勉強スペース開放含めたクーリングシェルター指定（市民福祉部）
新　国が進める子どもの一体的相談機関「こども家庭センター」のハートピア設置（市民福祉部）
市有施設総量削減を実施するための公共施設運営方針の検討（基盤整備部）
神岡振興事務所LED化（基盤整備部）
ハートピア古川１階事務所拡張整備（市民福祉部）
みんなで考える飛騨市図書館運営方針の策定（教育委員会）
議場リニューアル整備検討（議会事務局）

●市広報・広聴強化

市公式HPへの統合・拡充（企画部）
シティプロモーションのためのリーフレット、ポスター作成（企画部）
市政世論調査、こども世論調査の実施（企画部）
外部人材を活用した取材体制の強化（企画部）

●　第Ⅱ期指針の策定にあたっての考え方

１．＜政策の方向性＞

第Ⅰ期指針では、本市の将来像を　**みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち**　とし、
誰一人取り残さず、互いに支え合うまちづくりを推進してきました。
この将来像実現のため、政策方針である **元気で　あんきな　誇りの持てるふるさと飛騨市**の３つの柱に基づき、人口減少先進地として全国モデルとなるまちづくりに取り組んできました。

第Ⅱ期指針の策定にあたっても、**第Ⅰ期の将来像や政策方針を踏襲し、現行の方向性を継続**することが基本方針です。
一方で、この５年間で新型コロナウイルスの影響や物価高騰の影響、人手不足の加速化により**市内の状況が大きく変化**しました。例えば、観光業や小売業など地域経済も打撃を受け、これまでの人を呼び込む施策や外部に物を売りに行くといった施策が効果を上げづらくなってきました。また、コミュニティの希薄化も進み、地域コミュニティが成り立たなくなってきている集落もでてきている状況です。
また、買い物店舗が撤退した地域における「買い物弱者対策」として、これまでは、主に移動販売事業を拡大することにより対策を講じてきましたが、移動販売事業は、利用者減少や人手不足により、従来の仕組みを維持するのが困難になっており、新たな対策の検討を含めた**仕組みそのものの抜本的な見直しが必要**となっています。このような課題は担い手農家や伝統産業の維持継続の分野などでも同様の課題として顕在化してきており、今後さらに多様な分野で発生することが予想されます。

常に現場の声や市民の意見を聞いてきた中で、これらの課題に対しては、**持続可能な体制づくり・仕組みづくり**が不可欠であり、時にこれまでの仕組みそのものを変えるような**「変革」**が必要と言えます。

第Ⅱ期指針策定にあたっては、前述の通り、現行の方向性の継続が基本であり、政策の方向性の骨子は大きくは変わらないものの、具体的な取組として「持続可能な」要素を色濃く反映させることと、
今現在の状況の時点修正を加えて作成します。

また、将来像については、「持続可能」の意味を込めて「いつまでも」を加え、

「　いつまでも　みんなが楽しく　心豊かに暮らせるまち　」　とし、

今後５年間を**持続可能な仕組みづくりの変革における重点期間**と位置付け、取り組んでいくと共に、身近な暮らしの満足度を高めるような施策をさらに追求していきます。

２．＜行財政運営の方向性＞

飛騨市役所の行政改革については、持続可能な市役所づくりという観点から、前回指針から、**より具体的な方針を打ち出す**こととしています。

例えば、公共施設管理運営では、市内約 900 の公共施設の半数近くが築 30 年以上を経過しており、改修や建替えが課題となっています。すべての施設を維持することは、人口減少や財政的な面からも困難であるため、統合や廃止を含めた公共施設の具体的な方針を示す予定です。

また、市役所職員の定員や行政改革についても、これまでの実績や状況を踏まえた将来の見通しを、前回より具体的な数字で示す方針で協議中です。

上記を含めた財政運営では、「財政余力を見定め、その範囲内で事業を実施する」という基本方針を掲げ、持続可能な財政運営を推進していきます。

＊次回 12 月開催の総合政策審議会では、これらを含めた具体的な記載内容をお示しし、
委員の皆さまから意見を頂戴したいと考えています

第Ⅰ期　飛騨市総合政策指針

R2～R6

飛騨市総合政策指針

目指す将来像	大きな課題	分野毎の将来像	目標達成のための取組み
みんなが　楽しく心豊かに　暮らせるまち	●人手不足により、担い手後継者不足が顕著に。将来市は消滅してしまうの？ ●働く場所がなくなると人が外に出ていってしまう？	しごと **元気な飛騨市** ～全ての産業が前向きにチャレンジできる～ ◆ 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち ◆ 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち ◆ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち	高齢者や女性、障がいのある方や外国人など、全ての方が自分にあった働き方で生き生きと働けるまちを目指します。 ① 多様な人材が活躍する産業の支援 ② 少人数でも持続可能な産業の支援 人口減少時代のあらゆる場面でも、変革を恐れず柔軟に対応し、地域外需要の獲得に挑戦し続けるまちを目指します。 ① 新たな事業・商品サービスを創造する事業者の応援 ② 自ら起業する人の支援と仕事づくり ③ 広葉樹などの地域資源を生かした産業づくり あらゆる人や事業者と交流し、多様な考え方やニーズを広く受け入れ、産業やまちづくりへの活力を生み出すまちを目指します。 ① 思い出に残る観光地づくり ② 都市部への訴求力が高い農林畜産業づくり ③ 関係人口等との交流によるまちづくり
	●高齢者が増えると医療とか介護はちゃんと受けられるの？ ●子どもが減って、高齢者が増えると、色んな公共サービスは大丈夫？バスは？買い物は？	まち **あんきな飛騨市** ～全ての市民が支えあって暮らせる～ ◆ 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち ◆ お互いを家族のように思い、支えあえるまち ◆ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち	全ての市民がお互いを思いやり、最期まで自分の住み慣れた地で安心して暮らすことができるまちを目指します。 ① 必要な医療・介護を受けられる体制づくり ② 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり ③ 弱い立場の方も一人一人ありのままの自分を大事にされる環境づくり ④ 安心して暮らせる公共サービスづくり 全ての市民がお互いを家族のように思い、支えあい助け合って暮らすことのできる、みんなが安心できるまちを目指します。 ① みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり ② 楽しく子育てできる環境づくり 全ての市民が、無理なく自分に合ったペースで健康な心と体づくりに励み、生涯現役で健やかに暮らせるまちを目指します。 ① 全世代の健康づくり・体力づくりの支援 ② どんな人でも自分のペースで活躍できる環境づくり
	●子どもが減ってしまうけど、十分な教育を受けられるの？ ●地域の文化・芸術・まちづくり活動が衰退すると、みんなの誇りが失われてしまって住んでいて楽しいの？	ひと **誇りの持てる飛騨市** ～全ての人が交流し互いに成長しあえる～ ◆ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち ◆ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち ◆ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち	人口減少時代において子ども達に求められる課題解決能力を地域が一体となり育んでいくまちを目指します。 ① 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり 年齢・性別・出身等を問わず、自分を伸ばし成長し、どんな人・活動でも、みんなが尊敬しあえる“人”を誇れるまちを目指します。 ① 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり ② 個性あるまちづくり活動の支援 個性溢れる地域資源を磨き、自然あふれる素晴らしい環境を全国・世界に自慢できる誇り高いまちを目指します。 ① 地域・文化資源を大切にし自慢できる仕組みづくり ② 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

第Ⅱ期　飛騨市総合政策指針　骨子案（令和６年10月25日版）

飛騨市総合政策指針

目指す将来像

いつまでも　みんなが　楽しく心豊かに　暮らせるまち

大きな課題

- ●人手不足により、担い手後継者不足が顕著に。将来市は消滅してしまうの？
- ●働く場所がなくなると人が外に出ていってしまう？
- ●高齢者が増えると医療とか介護はちゃんと受けられるの？
- ●子どもが減って、高齢者が増えると、色んな公共サービスは大丈夫？バスは？買い物は？
- ●子どもが減ってしまうけど、十分な教育を受けられるの？
- ●地域の文化・芸術・まちづくり活動が衰退すると、みんなの誇りが失われてしまって住んでいて楽しいの？

分野毎の将来像

元気な飛騨市（しごと）

～全ての産業が前向きにチャレンジできる～

- ◆ 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち
- ◆ 変革への挑戦を続け、新しい価値を創造するたくましいまち
- ◆ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

あんきな飛騨市（まち）

～全ての市民が支えあって暮らせる～

- ◆ 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち
- ◆ お互いを家族のように思い、支えあえるまち
- ◆ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

誇りの持てる飛騨市（ひと）

～全ての人が交流し互いに成長しあえる～

- ◆ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち
- ◆ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち
- ◆ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち

目標達成のための取組み

高齢者や女性、障がいのある方や外国人など、全ての方が自分にあった働き方で生き生きと働けるまちを目指します。
① 多様な人材が活躍する産業の支援
② 少人数でも持続可能な産業の支援

人口減少時代のあらゆる場面でも、変革を恐れず柔軟に対応し、地域外需要の獲得に挑戦し続けるまちを目指します。
① 新たな事業・商品サービスを創造する事業者の応援
② 自ら起業する人の支援と仕事づくり
③ 広葉樹などの地域資源を生かした産業づくり

あらゆる人や事業者と交流し、多様な考え方やニーズを広く受け入れ、産業やまちづくりへの活力を生み出すまちを目指します。
① 思い出に残る観光地づくり
② 地域内外への訴求力が高い農林畜産業づくり
③ 関係人口等との交流によるまちづくり

全ての市民がお互いを思いやり、最期まで自分の住み慣れた地で安心して暮らすことができるまちを目指します。
① 必要な医療介護を受けられる持続可能な体制づくり
② 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり
③ 弱い立場の方も一人一人ありのままの自分を大事にされる環境づくり
④ 安心して暮らせる公共サービスづくり

全ての市民がお互いを家族のように思い、支えあい助け合って暮らすことのできる、みんなが安心できるまちを目指します。
① みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり
② 楽しく子育てできる環境づくり
③ 平和な日常が大切にされるみんなにやさしいまちづくり

全ての市民が、自分に合ったペースで健康な心と体づくりに励み、お互い尊重され、自分らしく暮らせるまちを目指します。
① 全世代の健康づくり・体力づくりの支援
② 誰もが互いに認め合い自分らしく活躍できる環境づくり

人口減少時代において子ども達に求められる課題解決能力を地域が一体となり育んでいくまちを目指します。
① 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり

年齢・性別・出身等を問わず、自分を伸ばし成長し、どんな人・活動でも、みんなが尊敬しあえる“人”を誇れるまちを目指します。
① 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり
② 個性あるまちづくり活動の支援

個性溢れる地域資源を磨き、自然あふれる素晴らしい環境を全国・世界に自慢できる誇り高いまちを目指します。
① 地域・文化資源を大切にし自慢できる仕組みづくり
② 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

「持続可能」な

- 定員適正化計画
- 行政改革
- 公共施設管理運営
- 財政計画

平和

危機的状況（コロナのような）

ダイバーシティ

今後のスケジュール

資料③

政策協議
7-10月

予算編成
10-11月

7月　10月　11月

第１回飛騨市総合政策審議会
令和6年8月5日(月)　実施

第２回飛騨市総合政策審議会
令和6年10月25日(金)

予算査定
12-1月

議会審議
2-3月

1月

第３回飛騨市総合政策審議会
令和6年12月20日(金)　予定

第４回飛騨市総合政策審議会
令和7年3月24日(月)　予定